



例題と解説

例題 1

次の計算をなさい。

$$(1) \quad 3 - \frac{2}{5}$$

$$(2) \quad \frac{1}{2} - \frac{2}{5} + \frac{3}{4}$$

$$(3) \quad \frac{7}{10} + \frac{1}{3} - \frac{4}{15}$$

答え (1) $2\frac{3}{5}$ (2) $\frac{17}{20}$ (3) $\frac{23}{30}$

[例題 1 の解説]

(1) 整数から分数をひく場合は整数を分母が1の分数に直して通分します。

3を分母が1の分数にすると、 $3 = \frac{3}{1}$ となります。

$$3 - \frac{2}{5} = \frac{3}{1} - \frac{2}{5}$$

通分して引き算します。

$$\frac{3}{1} - \frac{2}{5} = \frac{15}{5} - \frac{2}{5} = \frac{13}{5} = 2\frac{3}{5}$$

$$(2) \quad \frac{1}{2} - \frac{2}{5} + \frac{3}{4} = \frac{10}{20} - \frac{8}{20} + \frac{15}{20} = \frac{10-8+15}{20} = \frac{17}{20}$$

$$(3) \quad \frac{7}{10} + \frac{1}{3} - \frac{4}{15} = \frac{21}{30} + \frac{10}{30} - \frac{8}{30} = \frac{21+10-8}{30} = \frac{23}{30}$$



例題と解説

例題2

$\frac{4}{7}$ mのロープAと $\frac{2}{5}$ mのロープBがあります。どちらがどれだけ長いですか。

答え ロープAが $\frac{6}{35}$ m長い

[例題2の解説]

通分します。

$$\frac{4}{7} = \frac{20}{35}, \quad \frac{2}{5} = \frac{14}{35} \quad \text{より、} \quad \frac{20}{35} - \frac{14}{35} = \frac{6}{35}$$

よって、ロープAのほうが $\frac{6}{35}$ m長いことがわかります。

ポイントまとめ

- ・整数から分数をひく場合は整数を分母が1の分数に直して通分します。